

いつていただきたいと思ひます。

これを推進、健康づくりを推進するためには、やっぱり協力体制、市の担当課だけ幾ら頑張っても駄目なんですよ。その教育体制というものをつくらなきゃならんと思うんですが、その辺のところはどうなってますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

健康増進課におきましては、食生活改善推進員でありますとか地区運動教室推進員、こういう方々のマンパワーを活用しながら公民館事業と連携をし、あるいは学校、職域、地域で連携をした地域づくりを推進していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

前、ポイント制度というのを取り組んだことありますよね。いろんな取組あると思ひますけども、コロナ禍がある程度解消されてきつつあると思ひるので、ぜひこれから高齢化が進む、そういう時代に入っていくんで、より皆さんに分かりやすいような形で、市民の皆さんに働きかけをしていつていただきたいと思ひます。

これで、私の質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で新保議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開は45分といたします。

〈午後3時32分 休憩〉

〈午後3時45分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。3年目となり、折り返しとなりますが、引き続き市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げる町、人口増を目指し、活動することで当市の翠の交

流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、糸魚川総合病院の分娩休止に伴う当市の支援策について。

今年4月より糸魚川総合病院における分娩休止に伴い、当市の支援策について伺います。

- (1) 出産時交通費（市外の産科医療機関までのタクシー利用）の助成及び出産時宿泊費（医療機関の近隣の宿泊施設への宿泊）の助成について、利用実績はあるか。
- (2) スムーズな救急搬送を図るための「妊婦情報事前登録制度」を設けたが、どのようなメリット・効果が期待できるのか。
- (3) 救急車内での分娩介助を想定した実技研修が行われたとのことだが、その後、実出動があったか。
- (4) 分娩休止に伴う産科の問題について、いろいろなサポートを行っているが、さらにどこに力を傾注すべきと考えているか。
- (5) 当病院での分娩再開に向け、医師確保は可能となるのか。

2、JR大糸線（糸魚川駅から南小谷駅）の存続問題について。

当市と長野県松本市を結ぶ大糸線の糸魚川駅から南小谷駅間の沿線活性化や利用促進に向けた取組についての協議が始まっているが、存続に向けてぜひ踏みとどまってほしいと希望します。今後の在り方・議論の進展について伺います。

- (1) 「大糸線利用促進輸送強化期成同盟会」や「大糸線活性化協議会」等で、沿線自治体とJR西日本が互いの考えを主張し合っているだけのように思えるのは、なぜか。
- (2) 当市にとって大糸線がより魅力的な路線となるよう活性化、利用促進に取り組むとは、具体的に何をするのか。
- (3) これまでも様々な対策を打ってきたと思うが、その成果と問題点は何か。
- (4) 存続への活路として、来年3月開業予定である北陸新幹線の敦賀延伸は追い風になると考えるか。

3、糸魚川市人口減少対策プロジェクト推進体制について。

糸魚川市の最重要課題である「人口減少対策」に対応するため、4月より「人口減少対策プロジェクト」を設置した。プロジェクトは、「人口減少対策推進本部」と「人口減少・少子化対策プロジェクトチーム」で構成し、各課で取り組んでいる施策を市内一丸となって推進するとあるが、現況について伺います。

- (1) 企画定住課にあった組織変更前の「人口減対策係」の仕事と何が違うのか。
- (2) 新たに組織変更された「企画政策係」が各課との調整を行い、プロジェクトを推進するとあるが、具体的に何をするのか。
- (3) プロジェクトの進捗や効果を市内でどのように評価していくのか。
- (4) 期間を定めて当市の広報等に進捗や効果について掲載する考えはあるか。
- (5) 万一効果が十分でない場合、どのような追加策を考えているか。

4、柵口温泉権現荘の施設運営について。

去る4月25日より、柵口温泉権現荘が日帰り温泉の営業を始めて2か月が経過しようとしてい

るが、今後の展望について伺います。

- (1) 宿泊施設として利用できたときと現在の日帰りのみの営業とでは、1日当たりの利用される客数の増減はどうであるか。
- (2) 集客の状況から、収支の見通しはどうか。
- (3) 新たにオープンしてから現在に至るまで、お客様を呼び込むための改善策や工夫したところは何か。
- (4) 食堂を再開してもらいたいという声があるが、考えはあるか。
- (5) 現時点で民間譲渡先が決まっているのか。

5、当市の諸課題について。

- (1) 4月に北山広田圃場で地滑り災害が発生したが、復旧事業について現時点で計画工程に変更はないか。また、報道が遅かった理由は何か。
- (2) 市長公約の学校誘致・設立について、前回の質疑で、「看護師養成学校の誘致・設立は困難であるが、検討は続ける」との答弁を頂いたが、その後の進展はどうか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、5月末現在、出産時交通費助成事業は19人の事前申請がありますが、利用実績はありません。出産時宿泊費助成事業は、付き添いの方1人1泊分の利用がありました。

2点目につきましては、緊急連絡先、医師からの指示事項など、申請時に登録している情報があることから、119番通報時に聞き取る内容が最小限で済み、負担が軽減されるとともに、出勤までの時間が短縮されます。

また、出産予定医療機関と連絡を取り、医師の指示の下、適切に対応しながら搬送することができ、安心感につながるものと捉えております。

3点目につきましては、現在のところ出勤はありません。

4点目につきましては、今後も妊産婦の皆様からの意見や要望をお聞きし、安心して出産できるよう取り組んでまいります。

5点目につきましては、現状では厳しい状況ではありますが、引き続き糸魚川総合病院及び県と連携し、産科医師の確保に取り組んでまいります。

2番目の1点目につきましては、振興部会において、活性化策に優先し、取り組むこととしており、今後もお互いの立場や主張が折り合うよう議論を深めてまいります。

2点目につきましては、新幹線駅と接続している利点やジオパークをはじめとする沿線地域の魅力など、大糸線に乗ってみたいくなるような情報発信と活性化策に取り組んでまいります。

3点目につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、十分な活性化策に取り組めず、利用者の増加につながっていないものと認識しております。

4点目につきましては、移動時間の短縮により、関西方面からの誘客など、敦賀延伸を大きなチャンスと捉えております。

3番目の1点目と2点目につきましては、人口減対策係では、婚活事業やUIターンの推進、関係人口の創出などについて、企画立案から事業実施まで取り組んでまいりました。企画政策係は、プロジェクトの事務局として事業評価や情報の収集、分析を行い、人口減少、少子化対策事業の新設や再編について、庁内一丸となって取組を進める役割を担ってまいります。

3点目と5点目につきましては、プロジェクトの推進体制において、事業の取組方針や方向性を協議し、施策を推進するとともに、事業の効果と成果を分析し、見直しを図ってまいります。

4点目につきましては、事業の情報発信に努めるとともに、プロジェクトの進捗状況について、必要に応じて周知してまいります。

4番目の1点目につきましては、日帰り入浴のお客様で比較いたしますと、利用者は、対前年比約119%となっております。

2点目につきましては、入館者数は増えておりますが、電気代の高騰などもあるため、経費節減に努めてまいります。

3点目につきましては、ポイントカードなどにより、リピーターの確保に努めております。

また、温泉以外でも楽しめるコーナーの設置やイベントの開催により、幼児から高齢者まで楽しめるよう誘客に努めております。

4点目につきましては、多額の経費が必要となることから考えておりません。

5点目につきましては、民間譲渡に関しては決まっております。

5番目の1点目につきましては、県の地滑り対策事業及び市が実施する農地農業用施設災害復旧事業とともに、現時点では、工程の変更はありません。市民の安全・安心に関わる情報について、適切に周知してまいります。

2点目につきましては、現状では実現の見通しは立っておりませんが、引き続き近隣の看護学校等を調査し、検討してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入らせていただきます。

1番目の（1）に関してでございますけれども、ちょっと少ないなという感じはするんですけれども、何か理由というんでしょうか、そういったものを把握はされておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

先ほど交通費助成につきましては19件、また宿泊費につきましては1件の実績があるということをお答えいたしました。実績等が少ないのではないかとということでございますが、例えば交通費助成であれば、市外の病院へ送ってくれる家族の方等がいらっしまったということで、実際タクシー利用まで至らなかった。

また宿泊費につきましても、宿泊を要するまでの出産・分娩等の待機等の時間がなかったということで、こちらのほうにつきましては、それぞれ対応すべき方々が家族等にいらっしまったことから、このような実績になっているというふうに捉えております。

また、今後こちらのほうの制度につきましては、引き続き妊娠届等の際に、こちらの周知のほうを図ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、例えば単純に、糸魚川では今産めないからと思っているからではないというような、そういうことでよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

糸魚川で産める。市内で分娩等ができる、できないにかかわらず、これまでも市外で分娩等を行った方もいらっしまいますので、そういった市内・市外にとらわれないものの、こちらのほうの実績だというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この4月以降、当市で出生数というんでしょうか、そういった変化というのは見られるんでしょうか。

それとあと、どこの病院で出産されたのかというのは把握されておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

4月、5月の出生等につきましては、20名を若干超えてるような数字であります。こちらが市内で出産が、現在休止となっておりますが、そういったものによるものかどうかということは、こちらのほうの関係性については、特段こちらに関係性があるものだというふうには、特に認識をし

ておりません。

また、分娩施設につきましては、やはり市外でということで、主に上越方面が多くなってるという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうするとやっぱり今までも上越という変な言い方ですが、例えばその病院が産婦人科のお医者さんがいたとしても上越に行ったたというのは、何かやっぱりそういった上越のほうがいいと思われてたという、そういうことがあるんでしょうか。その根底というんでしょうかね、やっぱり市内にお医者さんがいるにもかかわらず、上越のほうへ行ってしまうというのは、何か上越のほうに魅力というんでしょうか、そういったものがあるというふうに捉えていたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

例えば令和4年度の出生した分娩の場所を見ますと、糸魚川市内が約47%、また上越市内が約32%ということでございます。例えば出産される妊産婦さんの方のご自宅等の位置によりまして、やはり上越方面が近いという方も中にはいらっしゃるかと考えております。そういった等から、それぞれ皆様が選択をされて、医療機関のほうを選んでいるということ、またそれぞれの病院、取扱い医療機関によりまして、例えば個室対応をするとか、そういった対応等の違いもありまして、そちらにつきましては、それぞれ市民の方々のご希望によって、医療機関を選んでいただいたものだというふうに考えられます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

やっぱりこれは、もう個人、選ぶのは自由なものですからね。できるだけ市内でというふうに思っても、やっぱりお客様といいますか、妊婦さんがそのように判断されたというのであれば、これはもうやむを得ないのかも思いませんけども、何か工夫があってもよかったのかななんて思ったりもいたします。

それでは、（2）でございます。これは、例えばその近隣の病院には、何分ぐらいで行けるというのでしょうか。それとまた、冬までに雪道というんでしょうかね。そういったものはどう考えていらっしゃるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

まず、近隣のということですが、上越ですと30分から40分、またその傷病者の、傷病者といいますが妊産婦さんおられる場所にもよりますが、例えば西のほうへ行きますと富山県側ということであると糸魚川へ来るよりも近いといったようなことも考えられます。

また冬道につきましては、当然救急車はどんな状況であっても市外搬送をするので時間がかかっても雪道であろうが、病院へ収容するというような形になります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

一応冬がちょっと心配かななんて思ったりもするんですけども、とりあえず、雪道に関しては少し安全にといいですかね、搬送していただければと思います。

それと（3）についてでございます。この救急救命士さんや、あるいは救急隊員さんは妊婦さんに対して安心感を与える雰囲気づくりというんでしょうか、そういったものはどのようにして行うのかということなんですけども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

妊産婦さんに限らず傷病者に対しましては、救急救命士、あるいは救急隊員は、接し方につきましては、丁寧な対応ということで、ただ丁寧な言葉を使えばいいというようなことじゃなくて、やっぱり傷病者に合わせた対応に心がけております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

助産師さんを同乗させるようなシステムというのは、考えてはいないんでしょうか。そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

助産師さんが救急車に乗る云々ということは、消防本部だけの判断ではできませんけども、我々

できることは、病院前救急ということで、そちらのほうに全力を傾けたいというふうに考えておりますが、またそういった話があれば協議できればいいのかなというふうに考えますが、現状は考えておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっとなかなか連絡しにくいというようなこともあるみたいで、やっぱりちょっと抵抗があるようなんですけども、ぜひそういったこともちょっと考えていただけたらというふうに思います。

それとあと、救急車両が5台あるということを知っておるんですけども、大変出動が多いというふうに聞いております。本当にこの緊急の場合、本当にこれに加わっても本当に大丈夫なのかということなんですけど、そこら辺は、例えば5台全部出て、ほいで本当に緊急でちょっと調子が悪いというような、そういった連絡があった場合、本当に対応できるのかということなんですけど、そこら辺は確率の問題もあるかもしれませんが、そこら辺は大丈夫なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

今、救急隊につきましては、各署所、4隊にプラスの消防署にあります5隊目を運用するというところで、令和5年3月議会の伊藤議員の質問にお答えしたんですが、例えば5隊、今までないんですけども、そういった場合には、例えば近隣の消防局、消防本部、また状況によってはドクターヘリの要請、また私らの、例えば心肺停止の傷病者だとか、あと例えば2階に傷病者がいる場合にマンパワーが必要だということで、ポンプ隊というのが出ますので、まずは、ポンプ隊が傷病者に接して、その後どうするかといったようなことを対応を取るようしております。

ただ、今までちょっと5隊全部出たというような、ちょっと事例は考えられませんし、6隊目というのは、ちょっとということなんですけど、今後、上越あるいは富山県の搬送が増えた場合には、そういったこともちょっと検討していかなければいけないのかなというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

いろんなリスクを考えながら、ちょっと考えていただきたいと、そのように思います。よろしく申し上げます。

あと、この産科の休止というんでしょうか、これが長引けば、やっぱり小児科も休止になるおそれというのはないものなのかということで、本当に人口が少ないところは医療過疎になっていくも

のだと思いますし、行く行くは保育士さんにもやっぱり影響が及ぶんじゃないかというふうに思われるんですけど、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

小児科医の確保について、お答えさせていただきます。

確かに産婦人科が分娩休止になった。じゃあ次心配されるのは小児科と、そういうふうに連想されるわけですが、それについては今、糸魚川総合病院と市と連携をしながら、富山大学に対して、引き続き小児科医の派遣についてお願いをしております。

したがいまして、今はすぐに小児科医が休診になるというような話は伺っておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

今ほど保育士というふうなお話が出ましたので、お答えさせていただきます。

糸魚川市で生まれた子供、お子さんにつきましては、市が責任を持って保育に当たっていききたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

心配や不安の声があるかと思えますけれども、妊婦さんが安心して出産を迎えることができるように、環境を整える努力をしていただきたいと思います。

（5）でございます。これに関しては、ちょっと今現在はちょっとなかなか難しいということはお聞きしておるんですけども、これが例えば勤務医ではなくて開業医として誘致するというような、そういった考えというのはないでしょうか。それもかなり今も難しいというふうに理解してよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

お産を伴わない婦人科であれば、どなたかやっただけの方というのもおられるかと思うんですが、お産を取り扱う産婦人科ということになると、今の糸魚川市の分娩数からして、間違いなく不採算ということになります。

したがいまして、そういう方がおいでになるのかどうか、もし誘致をすとなれば、糸魚川市でもかなりの財政負担が伴うんでないかなという心配はしております。すぐに開業医を誘致というのは、なかなか困難でないかなというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

やっぱり何でも駄目駄目というと、ちょっと何もこっちも言いようがないんですけれども、やっぱりちょっと選ばれる市というんでしょうか、何か戦略を練っていつていただきたいなというふうに思うんですよね。何でも駄目と言われちゃうと、そうですかって、もうそれで尻尾巻いて帰ってくるわけにもいかないので、やっぱり何とかするぞというような、そういう意気込みというんでしょうか、そういったものがやっぱり私は必要だと思うし、そうでなければあまり議論やっても意味がないような気がしますんで、ぜひ再度、検討というわけじゃないんですけども、再度ちょっと動いてもらいたいと思うんですけどね。いろいろ医学部だって、毎年、医学生は出ているわけだし、どっかの大学が潰れたなんてことも、医学部が潰れたなんてこと聞いてないので、それなりにお医者さんはいるかとは思いますが、例えば大学病院だとかそういったものを個別に回るとか、あるいは開業医の先生だとか回ってみるとか、そういったようなこともしていただくということは、できないものなのかと思うんですけど、そこら辺はどうなんでしょうか。やっぱりもうまるきりお手挙げで、もうなす手なしということなんでしょうか。私は、そういうものだとやっぱりちょっとなかなか前へ進まないような気がするんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

全て駄目と言っているわけではございません。決してなす手はなしとして何もしないということではございません。何度もお答えいたしておるように、厚生連、そしてまた新潟県と連携をしながら、医師確保は探しておる状況でございます。そして、開業医よりも、やはりその勤務医のほうがハードルが低いと捉えてるわけでございます。当然、この勤務医を探してるわけでありますが、開業医となってくると先ほど課長が述べたように、大変な努力になるだろうと思っておりますが、そういったところを我々が補っていけるかという形はなかなか難しいと思っております。今の中では、やはり糸魚川総合病院に産科医を何とかお願いしたいということで探してる状態でございます。駄目駄目と言って何もしてないということではございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひ引き続きよろしくお願ひいたします。

それでは、大糸線についてであります。

当市は、大糸線がより魅力的な路線となるよう活性化だとか利用促進と言ってますけども、実際の実績については、JRとしては大幅に乗客を増やしていつてるわけじゃないので、大変厳しい見

方をされてるんじゃないかというふうに思っていますけれども、そこら辺はどのように思っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

実際に1日、平均50人ですとか、JRのほうで経営状況の公表というのもされております。JR自身は非常に厳しいという認識でしょうし、糸魚川市もこのままではいけないということで、数々の活性化、利用促進の取組をしておるもので、その辺に対する認識は同じかと思えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私も大糸線は、ぜひやっぱり存続していつてもらいたいと思っております。

しかし、廃止となった場合、当市にとってどういうことが予想されると思われませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

影響は、大きい視点、高い視点から小さな視点までいろいろあると思います。生活でご利用している方もいらっしゃいますし、新幹線駅、糸魚川駅という部分に対して、大糸線がある、ないだけでも大きなこの先は分かれ道になるかと思えます。やはり少しマインド的にといいですか、糸魚川市の格として、品格の「格」ですね。国道もあって新幹線もあって在来線もあるというところが、検索してもなかなかヒットしないような、鉄道が失われるというのは糸魚川市のそういう格の部分にも影響してくる非常に大変なことだということで、私たちは利用促進に取り組んでいるものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

新幹線が今の糸魚川駅になった理由というんでしょうかね、そういったものは何かと思えば、やっぱり大糸線があったからだというふうに言ってる方もいらっしゃるんですね。これは私、正解だと思っております。やっぱり大糸線があったからこそ、今の新幹線の駅が、新糸魚川だとちょっと離れたところへちょっと駅ができたとか、そういうあれじゃなくて、現在あるところに、あるということが大きな私メリットだと思っておりますし、それをやっぱり何とか活用できんもんかとい

うことで、いろいろあったかとは思いますが、ぜひこれ、ここはもう踏ん張りどころなんで、いろいろ言われてくるかもしれませんが、ぜひちょっとしのでいただきたいというわけじゃないんですけども、かなり粘っていただきたいというふうに思っておりますけど、その覚悟はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

大糸線を鉄道として存続していかなければならないということで取り組んでおる、その覚悟というのは、松本市から糸魚川市までの沿線8市町村、あと新潟、長野両県同じ思いで、その一点で向かって、私たちは仕事をしているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

3番目にも関連するんですけども、私も言ってる手前、5月2日に糸魚川・塩の道起点まつりで、帰りに根知駅から糸魚川駅まで乗っただけで、今年はまだ1回なんですね。本当に誠に勝手に、必要なときにあればよいのであって、ふだんはあまり意識していないというんでしょうか、そういうもんだと思うんですけど、そこら辺はそれで私はいいんじゃないかと思うんですが、あるとき、必要なときに動いていけばいいというふうに思うんですけども、そこら辺はどう思われておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

私ども交通政策に関わっている人間からしますと、一昔前までは、普通にそこに何も心配しなくてもあるものという認識なんですけど、やっぱ乗らないけど、あってくれたほうが安心だよねというところは、もうJRは民間企業で株主のために利益を追求するという目的で、それが会社ですし、今、国のほうで公共交通の在り方についての提言に関しても、かなり幅広く議論をなささいというような、もう一昔前の感覚ではないということも、私どもその動きというのを意識しながら、でもやはり利用促進をやって、今の状態を改善傾向を見せないと、その先にJRにあれやってくれこれやってくれということも言えないからということで、今なかなかタイムリーヒットみたいなのは打てないですけど、こつこつやっているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

4番目になります。どのぐらいお客様が来るかというんでしょうかね、この敦賀まで延伸して、どのぐらいお客さんが来るかというのは、不確定要素があるかと思うんですけども、敦賀延伸を理由に何とか延ばしに延ばして、策としては延ばしに延ばしにしていくとしかしないような感じはするんですけど、そこら辺はどのように、敦賀延伸というこのキーワードをどうやって、どうやってというか、どういうふうに考えて、これを追い風というんでしょうかね、していきたいと思っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今ご質問の中に先延ばしというような、そういうニュアンスが見えた時点で、会社はスタンスを変えるかと思えますので、やはり本気で利用者を増やしていくんだというつもりで、私どもは取り組んでおります。

敦賀延伸、市長の答弁の中にもチャンスであるということ、若干それを細かく見てみますと、関西圏の方に対しては、糸魚川にしても向こうの方にしても、お互い時間的な距離というのは30分程度なんですけど、縮まりますので、ビジネス的にはチャンスだと思います。関東エリアの方から見たこちらの北陸は、これまでの状況とは変わらないですけど、関東エリアから見た敦賀の延伸というのは、選択肢が増えて、行ってみたいところとしての魅力が高まる反面、それをただ単にいっぱい来てくださいねというと、糸魚川駅を通り過ぎられるだけなので、そういう母体が増える部分からどうやって引き抜くかというところのPR、戻りますけど関西方面のPRとそういうのは、併せてやっていくというのが私たち同盟会としての考え方でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

JRには、やはり私も前から言ってるんですけども、白馬方面まで何とか相互乗り入れというんでしょうかね、それができれば一番いいななんて思うんですけども、そういった要望というんでしょうか。今はこういったことは、まだJRには、申しというか、言うことはできないものなんでしょうか。それとも、既にもう言ってるのか、確認なんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

活性化協議会とか同盟会の下にある振興部会は、それぞれJRも含んだところで目的もはっきりしております。

ただ、同盟会ですとか日本海ひすいライン利用促進協議会とか、市もいろいろな肩書きといいま
すか、関係しとる団体もあります。その中では、観光列車を入れてもらいたいとか新幹線の接続、
新幹線だけではなくて、新幹線から大糸線におっても、次の信濃大町のところで、ちょっと我慢で
きんくらの待ち時間とか、そういう部分の接続改善、その先に東と西の壁を突き抜けるというの
は昔はできたんで、できんことはないと思うんですけど、そういう部分の要望というものは、もう
ずっと昔からやっておりますし、これからも要望という立場ではやっていく予定にしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひよろしく願いいたします。引き続きよろしく願いします。

それでは、3番目であります。6月の当市の人口は幾らで、前年対比というんでしょうか、それ
はどんだけだったか教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

5月の末といったところになります。今年の数字が3万9,316人です。昨年の数字
が4万1,322人といったことですので、昨年よりも800人弱減ってるかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どうですかね、数字を聞いてというか見て、どのように思っているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

昨年の10月に、いよいよ4万人を割ったといった数字になっておりまして、その後も減り続け
ているといった状況ではございます。特に状況としては、自然現象と言われますところの数字が、
減少幅が大きいといったふうな分析をしております。出生数が少なく、亡くなられる方の数が多い
といった状況でございます。

したがって、出生数を増やすといったための入り口でもあります婚活といった取組、それから社会増減のほうにつきましては、割と回復傾向にもあるかと思っておりますので、UIターンの促進といったところに力を入れていく必要があるかなというふうには感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

じゃあ（1）でございます。今までの何つうかね、人口減対策に力を入れていたんだろと思うんですけども、今回、係を再編したことで、さらにこのパワーアップしたということよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

市長1回目の答弁でも申し上げましたとおり、昨年までの人口減対策係といったところでは、婚活事業、それからUIターンの推進といった事業について、企画立案から事業実施まで取り組んできたといった状況でございました。その人口減対策係につきましては、市の人口減対策を1係で担っていたというわけではございませんで、今申し上げたような事業を行ってきたといった部分でございます。

なお、今回企画政策係といったところでは、今回の人口減少・少子化対策事業のプロジェクトの中で事務局といたしまして事業評価、それから情報収集・分析を行いまして、人口減少・少子化対策事業の新設・再編について庁内一丸となって取組を進めるための旗振り役を担っていきたいといったものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

普通はこのプロジェクトチームといいますと、集中的に問題解決を図る際に設けられると考えられておりますし、もう絞り込んで、動いて、この推移を見守っている状況なのか、そこら辺を教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

人口減少は、これまでも糸魚川市ですずっと続いてきた状況でございますし、それに対応する取組といったところも、ずっと継続をして進めてきたといった状況でございます。

しかしながら、なかなかその人口減少というのが止まらないといった現実に対しまして、今回係を再編をして、プロジェクトという形で対応していきたいといったふう考えているものでござい

ます。特に今回のプロジェクトの中では、やはり若年層を中心とした人材確保、ほかの議員の方の質問にもありましたけれども、各産業での人材不足といったところも出ておりますし、特に糸魚川市の人口構造の中で、生産年齢人口、特に30代前半・後半といったところが少ないといったところもございますので、そういったところにフォーカスを当てた取組について情報収集・分析をして、取組を何か考えられないかといったところを進めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっと（3）にも関連すると思うんですけども、組織をつくったんだけどお題目で終わってしまうというんでしょうか、そういったことはないんでしょうか。いつから人が増えていくのかというのが一番そういうことにもなるんだと思うんですけども、なかなか止まらないもんで、そこら辺は正直どうなんだろうということなんですけども。ただ時間だけ過ぎて、人口がどんどん減っていくっていうのは、大変糸魚川市の勢力からいましてかなりまずいといえますか、そうなるんですけども、どうしてもやっぱりお題目で終わらないでもらいたいというんですけど、そこらの意気込みを教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

お答えします。

確かに今、議員が言われるように人口というのはずっと減ってきております。やっぱり分析をしていきますと、やっぱり高齢者が多くて亡くられる方が非常に、年間もう800ですか、合併してから700、合併したときはまだ少なかったんですけど、直近で見えていきますと、令和2、3、4と比較しても、亡くられる方が700人、令和4年度800人、生まれる数がもう200を切って150人なので、自然減少というのは進んでいくというふうに思います。

ただ、そういった中でもやっぱり若年層というのは、層を厚くしていかなきゃいけないし、やっぱり諦めたら終わりだと思います。なので、いろんな地方創生が平成27年、まち・ひと・しごと創生という国が旗振りをしてくれましたけども、そこで、まず一番最初にプロジェクトが始まったというふうに思います。

しかしながら、今この時点ではありますが、改めてもうそこでつくった基盤をしっかりと事業を見直す中で、また新たな取組、もう合わない部分は削っていく。そんな形で、なんとか諦めていけないということで進めているというところでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

4番目になるかと思うんですけども、やはりこういったことを働きかけてから、あるいは動いた

から成果が出たというようなことを記載してもらいたいというんでしょうかね。そういったことがやっぱり職員の自信にもなりますし、やっぱり士気も上がってくるかと思しますので、ぜひ何つかね、進捗状況だとかあるいは効果について、広報にも載らせていてもらいたいと思うし、そこら辺は改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

プロジェクト等を推進していきまして一番の効果が出たというのは、やはり人口動態ということになるんだと思っております。議員ご指摘のとおり、人口が増えたと言ったことが、プロジェクトの推進上、如実に分かってまいれば、そういったところはすごくトピックなんだろうなと思っています。

ただ、現実的にはそういったすぐ効果が現れるかといったところもございますので、推進に当たって様々な検討のタイミングもございますので、効果検証であれば事業評価といった形でのホームページの掲載ですとか、また、これまでやってきた人口減対策事業の見える化といったところであれば、ホームページで分かりやすく見せる、パンフレットを年代別に作ってみるといったところも含めまして、プロジェクトとして、また個別の担当課のほうで対応いただく部分もあると思いますけれども、必要に応じた対応をしてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

では、私のほうから。

今、議員のお尋ねは、広報とか進捗効果ということになってくると思います。今までやっぱり行政主体の取組が非常に多かったと思います。今、市民を巻き込んだ、いわゆる企業も巻き込んだ、そういった取組も、高校の魅力化とかも含めてになります。そういったところが出てきておりますので、今度はやっぱりいろんな企業の皆さんですとか、いろんな市民の皆さん、団体の皆さん、そういったところを巻き込んで、糸魚川市が一体となってやってる。そういう姿が出せればというふうに思いますので、またホームページとか、途中経過も含めてなりますが、その成果、実績、またそれをやったことによって、次また違うところへの進化、そういったものもありますので、やっぱり市民総ぐるみといいますか、いろんな皆さんと集まった中での取組というのはちょっと注目をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

(5)にも関連しますけれども、本当にね、もう理屈じゃないので、とりあえず結果出していくしかないんですよ。本当にもう人を増やすしかもうないんで、ぜひ力を入れていって、せっかく

プロジェクト立ち上げてという、副市長がヘッドやられてるというようなことでございますので、ぜひそこら辺も成果を出していただかないと、なかなか何やってんだみたいなことになってしまいますし、このままいったらもう本当にもうどんどん、どんどんということになってしまいますので、ぜひとも力を入れてやっていただきたいと思います。

それでは、4番の権現荘に関してであります。

(1)でございます。先ほど増えた119%というようなことでございますけれども、増えた理由というんでしょうか、これは何か分かっておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

増えた理由としましては、コロナが落ち着いたというのがありますが、それに加え営業日、これまで休館日があったのを取りやめ、全ての日を営業していることや、営業時間を延ばしていることなどが考えられるかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうだと思います。やっぱり週休二日制では無理だと思いますし、やっぱり今まで働いてなかったというのが正解ではないかと思っておりますけど、そこら辺はいかが考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

おっしゃるように、これまで火曜日、水曜日が休館になっている時間が長かったかと思えます。そういったものが影響していることはあったかというふうに思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

(2)でございます。権現荘の管理運営費事業で、使用料及び手数料で約1,800万円を計上しているかと思えます。これでいきますと1日最低85人ぐらい来てもらわないとクリアできないと思えますけれども、この今の119%というのは何人、1日平均何人ぐらいなのでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

4月、5月、119%、前年比19%増ですが、こちらは1日平均にいたしますと、90人の平均となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、このペースでいくと何とか予算というんでしょうか、そういったものはクリアできそうだとしたことなのかなというふうに思うんで、なるべく持ち出し分は少なくしていただけるのは大変いいことだというふうに思います。

（3）ですけれども、お客様を呼び込むための、何ていうんでしょうか、改善したところというでしょうかね。先ほど何かポイントカードというようなことは言ってたかと思うんですけども、これは今何か有効期限付で15回だということは自分も承知はして、私もこないだ6月の7日に行ってまいりましたんで、そのポイントカードはいただいてきたんですけども。やっぱり人によれば、せめて10回がベストと考えるというようなこともいただいております。

それとあと、高齢者のいこいの家、なんか糸魚川市民利用券というのがあるんですけども、それはどこに置いてあって、利用回数に制限はあるのかとか、そんなようなことをちょっと聞かれたんですけど、そこら辺はどのようにされておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

ポイントカードにおきましては、おっしゃいますように15回で1回無料という制度です。こちらもっと少ないほうがいいんじゃないかというご意見もありますが、安ければいいというわけではありませんので、現在できる最大のサービスとして15回とさせていただいておりますし、現在の運営は、令和6年3月31日までの予定となっておりますので、期限はその日にさせていただいております。

高齢者いこいの家につきましては、400円で1日ご利用いただけることとなりますが、利用券につきましては、能生事務所もありますし、各地区公民館に届いておりますので、ご利用いただければと思います。利用制限はございません。現実に毎日来ていただいているお客様もおられます。ありがとうございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

じゃあこれ、意外とこの市民の皆さんは知らない方もいるようなんですね。だからもうちょっと

うまく周知というんでしょうか、していただいたほうがいいかと思うんです。そこら辺はどのように考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

私も4月からこの経営をさせていただいておりますけども、市民の方はやはり知らない方というのが多いのかもしれないと思ひまして、チラシを作ったり、また口頭でお知らせをしたりさせていただいております。またこれからも、高齢者の集まるような場所で周知をすることでご利用していただけるよう、していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

続いて、このイベント、何を考えてるのかということなんですけども、私、不思議に思ったのは、隣に「よってきないや」とかいうのがあるんですけども、これは何か都市交流促進センターで1階がそば道場、2階は雪崩資料館というふうになってまして、行ってみますと張り紙が貼ってあって、都市交流センターは、そば道場、ガスボンベを撤去したためエアコン全館、ガス設備は使用できませんと書いてありますけど、これはどういう意味なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

そば道場「よってきないや」につきましては、設置時には、その下の1階のところでそばを作っていたけど、またそばを作ることを指導していくというような施設になっておりまして、そこでさらに食べていただいて、お買いいただくというような施設でございました。

ただ、近年利用実績が非常に低くなっておりまして、それに加えて、今ほどおっしゃいましたようにエアコン等が故障しましたので、利用実績等から、修繕については見送っているものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっと歩いて非常に足場が悪いというんでしょうかね、ツチノコとまでは言いませんけども爬虫類が出そうなような感じで、草がちょっと生えてたり、コンクリートの塊というか、アスファルトの塊というんでしょうかね、そういったものが散らばっているような感じなので非常に行く人

にとっては、何じゃこりやみたいいなそんな感じで、非常にちょっと行きにくい、近寄りがたい、昼間でもちょっと気味が悪いというんでしょうか、そんな感じになっておりますし、本当に使われな
いというのは非常にもったいない施設だなというふうに思っておりますけど、そこら辺はいかがお
考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

先ほどお答えさせていただきましたように、そば道場としての使用というのは非常に困難だとい
うふうに思っております。別の方法で使用が可能であれば、また修繕等も検討しようとは思いますが、現時点では使用の見込みが大変難しいという施設でございます。周辺の整備につきましては、
草取りですとかそういったものについては手がけていきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

役所のいいところは、きちんと造ってもらえるというのは非常にいいことだと思います。ただ、
本当に利用ができなくなると本当放置されたまんまになってしまうというのは非常に悪いことだとい
うふうに思います。

なので、本当にああいうふうに放置されちゃってると、本当にもうあれ使いようがないというん
でしょかね、非常にもうだんだん、だんだんちょっと非常に粗末な建物になっていくしかないな
と思うし、大体鍵が、もう入れないし、そんなような状態で、非常にもったいない施設になります
ので、そこら辺はちょっと検討していただきたいと思います。

次に、4番目であります。食堂を再開してもらいたいという声があるんですけども、非常に経費
がかかるみたいなことを先ほどおっしゃってましたですけども、大変私その食堂、お風呂入っ
た後、みそチャーシューメンとかたこの唐揚げが非常においしかったんですけども、本当にこの食
堂が運営できないことを、固定費というんでしょうか、それがかかり過ぎてるとというのはやっぱり
ちょっとおかしいんじゃないかと思うんですよね。そう思いませんか。普通そんなかからないよう
に造ってあるはずなのに何でそんなにかかる建物になってんのかな、ちょっと不思議でしょうがな
いんですけど、そこら辺はどう思われておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

食堂に関しましては、施設的な問題というよりは、食事を作る料理人の方を雇わなければいけな
い。また調理用の資材を仕入れたり、保管をするということが出てきますので、そういったものが
新たな追加として支出が出てきますので、費用がかかるというお話をさせていただいてるものでご

ございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それはちょっと無理があると思うんですね。普通商売するにしても、いろいろ原価計算をされていろいろやられると思うんで、そんな利益が出ないような商売なんかやらないと思いますので、そこら辺の考え方おかしいと思いませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

今回4月から能生事務所が経営する中で、やはりいろんな検討をさせていただきました。やはり経営するということでは、追加でかかる費用は削減したいという思いから営業していないものでありまして、それが、例えば黒字につながるというようなものではないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっとそれは今のあれは、うのみには私はできません。

次、5番目であります。今のところ民間の、何ていうんでしょうか、見つかっていないということでございますけれども、やっぱり民間が引き受けても利益が出ない施設だと判断すれば、なかなか買い手というんでしょうかね、やっぱり見つからないと思うんですけども、何が苦戦してるというんでしょうか、何がネックになっているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

こちらの施設につきましては、比較的大きな規模の施設になっておりますし、また一部老朽化があるところもあります。またコロナ禍の影響がまだ全て晴れておらず、温泉についてはなかなか経営が難しいというところから、新たな事業者がなかなか見つからないものだというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

時間も過ぎてきてますので、この辺にしたいと思います。

ただ、住民説明会へ行きますと、やっぱり集まった地域の住民の皆さんは、やっぱり存続というものを希望されております。ふだんの営業努力で維持していくことは、やっぱり十分可能だと私は考えておりますので、ぜひ成果というものを出していただきたいと思います。

次に、北山広田の圃場の地滑りの災害についてであります。

(1) 用水関連の応急仮工事というのは、6月中に終了できる見込みなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

現在、既に現地のほうでは、応急仮工事を実施させていただいておりまして、天候にも恵まれておりまして大きな雨も降りませんので、工事のほうは順調に進んでおりまして、6月末完了を目指して工事のほうを進めておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひよろしくをお願いします。

次に、4月1日に発生ということで、私14日に市から貸与されているiPadに情報が入ったんですけど、たまたま上早川の農村公園にいたもんで知らされたというか、分かったということなんですけど、現場主義の自分としてはちょっと遅いなというふうには感じたんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

災害が発生した場合につきましては、近隣住民の避難があったかどうか、またガス、水道、電気、電話、生活用道路などのインフラ施設が寸断されますことによりまして、市民生活に直接影響が出ているかどうか、そうした災害の規模ですとか被災の状況等に応じまして適切な情報提供に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

被害は、この中山間などに登録されている圃場が2町歩、耕作されてない圃場も含め5町歩とのことで、地滑りが収まらないと復旧工事というのができないというのは、理解はできます。地質調

査や水抜き工事等を行っても、早くて2年かかり、用水、農道、農地の区画整理などの復旧工事は、令和7年度以降となって、耕作開始は令和8年度からの認識でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

4月22日の住民説明会のときにもご説明させていただいたんですが、今議員が言われるような行程で今動いておりまして、現在のところ、その日程に変更はないというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

当市にとってお米作りは重要な産業であります。予算というものを確保して、早く工事が進み、復旧できることを希望しております。

次に、最後になります。市長の公約である学校誘致設立についてであります。

私、米田市長のマニフェスト、選挙公約というのを大変大事にしております。これを見ますと、市議会議員5期18年、元議長プラス5期目18年、もう5期目でなられてるということで18年ぐらいなんだろうと思います。恐らく30代から市政に関わってこられたんだと思います。単なる思いつきで記載されてるとは思いませんし、何か根拠があって書いたと思いますが、考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり当市にとって必要な事業につきまして、しっかりとつなげていきたいという気持ちがございます。ですから、そういう中においては、実現可能なものから実現ちょっと困難なもの、全て実際できるからやるということではございません。実現困難であっても挑戦はしなくちゃいけないというものもあろうかと思えます。そのような形で、今ご指摘の点については非常に困難だと思うわけですが、しかし、可能性を見つけて少しでもそれに近づきたいし、また、できれば設置したい。そのような気持ちでおるわけですが、もう私が出たときには、大学誘致の声もありました。そういういろいろ経験もさせていただいたり、そういういろんな情報をいただく中で、非常に困難であろうかと思うわけですが、やはり当市にとっては、何としてでも建てていきたいという気持ちで、今おる状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

第3次市の総合計画、令和4年から令和10年度の最重要課題のところにも、項目のところにも教育に書いてあります。本当にこの医療関係者と連携を図る中で、看護師養成学校の設置について検討を進めるとともに、地元を離れた子供たちとのつながりをつくり、Uターンにつながるよう進めるといふふうに書いてあります。35ページに記載があります。単なるお題目で終わってしまうのでしょうか。ぜひちょっと検討のほう、またよろしくお願いします。

以上で終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で渡辺議員の質問が終わりました。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後4時58分 延会〉

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

議 員

議 員